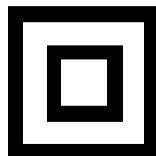
Hitachi Koki

ブレーキ付

日立集じん丸のこ

216mm　C 8Y

取扱説明書

このたびは日立集じん丸のこをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁

HITACHI

目　次

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品のすえ付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

① 作業場は,いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨の中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⚠ 警 告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源にさし込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態，部品の破損，取付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“回”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店に依頼してください。

集じん丸のこの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，集じん丸のことして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に速くなり，けがの原因になります。

② **保護カバーは，絶対に固定しないでください。また，円滑に動くことを確認してください。**
のこ刃が露出したままですと，けがの原因になります。

②

③

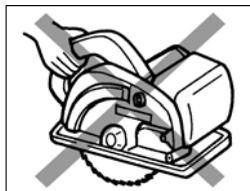
③ **のこ刃は，銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。また，歯底径が134mm以下ののこ刃は使用しないでください。**
けがの原因になります。

④ **切断する材料は，安定性のよい台に置いてください。**
台が不安定ですと，けがの原因になります。

⑤ **切り落とし寸前や切断中に，材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように，切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。**
のこ刃がはさみつけられると，けがの原因になります。

⑥ **材料の切り落とし側が大きいときは，切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。**
また，切り落とした材料がのこ刃と接触し，飛散するのを防止するために，台の高さは，のこ刃の出しろの３倍以上にしてください。
このような台がないと，けがの原因になります。
（12ページの図６－２を参照してください。）

⑦ **使用中は，本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，本体が振れ，けがの原因になります。

⑧ **使用中は，のこ刃や回転部，切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⚠ 警　告

⑨ **切断途中で，のこ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると，強い反発力が生じ，けがの原因になります。**

その場合，スイッチを切り，回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。

⑩ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音や異常振動がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**

そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑪ **誤って落としたり，ぶつけたときは，のこ刃や機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**

破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑫ **耳栓を使用してください。**

金属サイディング，鋼材切断時には，大きな金属音が出ます。

⑬ **鋼材切断時は，材料を確実に固定し，送りをゆっくりにしてください。ひねったり，こじったり，材料に急激に当てないでください。**

刃物のチップ飛散やモーターの故障，けがの原因になります。

⚠ 注　意

① **刃物類(のこ刃など)や付属品は，取扱説明書に従って確実に取付けてください。**

確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **のこ刃にヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**

のこ刃が破損し，けがの原因になります。

③ **使用中は，軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**

回転部に巻き込まれ，けがの原因になります。

④ **作業前に，人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ，機体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。**

異常があると，けがの原因になります。

⑤ **ブレーキが働くときの反発力に注意してください。**

機体を落としたりし，けがの原因になります。

⑥ **切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。**

強い反発力が生じ，けがの原因になります。

⚠ 注　意

⑦ **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**
刃こぼれだけでなく，反発により思わぬけがの原因になります。

⑧ **切断しようとする材料の前方に手を置いたり，コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。**
手を切ったり，コードを切断し，感電の恐れがあります。

⑨ **回転するのこ刃で，コードを切断しないよう注意してください。**
感電の恐れがあります。

⑩ **本体を万力などで保持した使い方はしないでください。**
不意の接触などで，けがの原因になります。

⑪ **高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。また，コードを引っ掛けたりしないでください。**
材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

⑫ **回転させたまま，台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

⑬ **のこ刃が材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。**
のこ刃の破損，本体の寿命低下の原因になります。

⑭ **鋼材の重ね切り，焼入れ鋼材の切断は，モーター部に無理がかかり，モーター故障の原因になります。**

⑮ **特殊チップソーでALCを切断する場合には，速い送りのまま切断すると，鉄筋切断時の振動でALCが欠ける場合があります。切り終りの時は，切断速度を落としてください。**

⑯ **特殊チップソーでALC内部の鉄筋や鋼材などの金属を連続して切断すると，切断火花，切りくずによりダストボックス内が高温になり，ダストボックスが溶ける恐れがあります。連続切断することはさけるとともに，切りくずは早めに捨ててください。**

各部の名称

スイッチ
ソーカバー
ハンドル
サイドハンドル
ノブボルト
ダストボックス
ワ付ボルト
ベース
ちょうボルト
保護カバー
ガイド
チップソー

図1－1

銘板
ちょうナット
(切込み調節用)
ブラシキャップ
ハウジング
ブラシホルダ

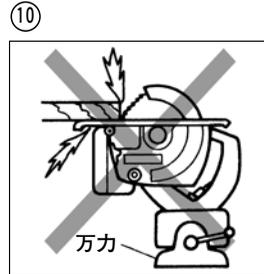
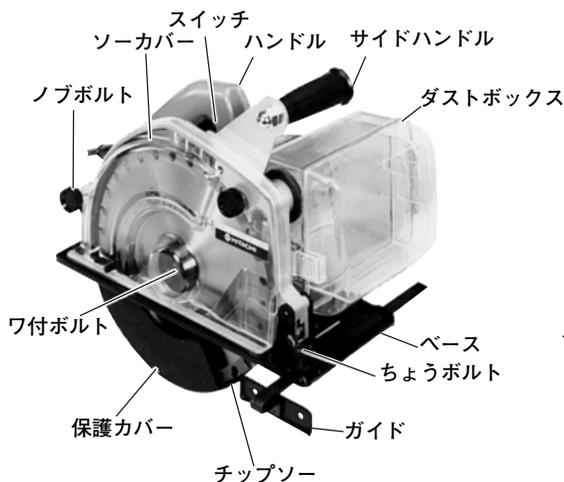
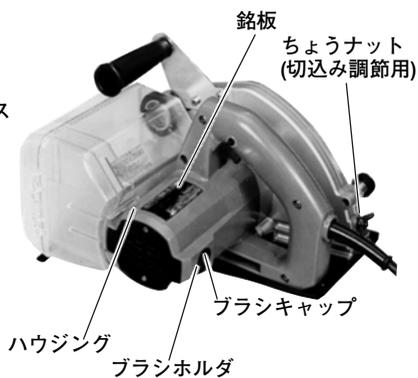



図1－2

仕　　様

使用電源	単相交流50／60 Hz 共用 電圧100 V
最大切込み深さ	78㎜
のこ刃寸法	外径216㎜×穴径25.4㎜ （穴径19㎜ののこ刃も使用可能）
無負荷回転数	4300 min^{-1} {回／分}
全負荷電流	12A
消費電力	1140W
モーター	単相直巻整流子モーター
質量	4.6kg（コードを除く）
コード	2心キャブタイヤケーブル2.5m

標準付属品

<table>
<tr><td>C 8Y
標準チップソー付</td><td>図　2</td><td>① 標準チップソー（本体装着）　‥‥‥１枚
寸法
<table><tr><td>外 径</td><td>穴 径</td><td>チップ幅</td><td>のこ身厚さ</td><td>歯 数</td></tr><tr><td>216 mm</td><td>25.4 mm</td><td>2 mm</td><td>1.4 mm</td><td>60 枚</td></tr></table>下記の図４に示す②～⑨の部品を付属。</td></tr>
<tr><td>C 8Y（SC）
特殊チップソー付</td><td>図　3</td><td>① 特殊チップソー（本体装着）　‥‥‥１枚
寸法
<table><tr><td>外 径</td><td>穴 径</td><td>チップ幅</td><td>のこ身厚さ</td><td>歯 数</td></tr><tr><td>216 mm</td><td>25.4 mm</td><td>2.3 mm</td><td>1.6 mm</td><td>30 枚</td></tr></table>下記の図４に示す②～⑨の部品を付属。</td></tr>
<tr><td>C 8Y（N）
のこ刃別売</td><td></td><td>下記の図４に示す②～⑨の部品を付属。</td></tr>
</table>

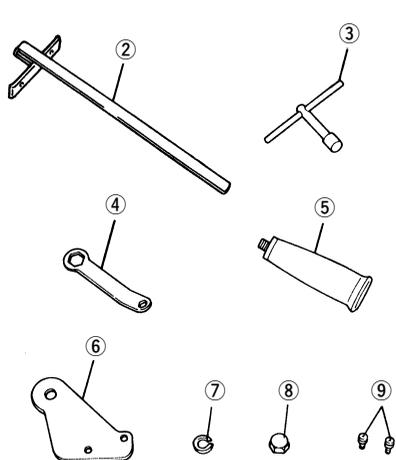



図　4

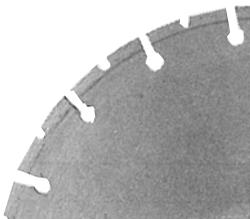
② ガ　イ　ド‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１個
③ ボックススパナ‥‥‥‥‥‥‥‥１個
④ ス　パ　ナ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１個
⑤ サイドハンドル‥‥‥‥‥‥‥‥１個
⑥ プレート‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１個
⑦ スプリングワッシャ‥‥‥‥‥‥１個
⑧ M10フクロナット‥‥‥‥‥‥‥１個
⑨ M5×16スプリングワッシャ
付き⊕ナベねじ‥‥‥‥‥‥‥‥２個

別売部品

⚠ 警　告
・別売部品をご使用の際も，保護メガネを着用してください。

1．窯業系建材用ダイヤモンドホイール（図５）

⚠ 警　告
・使用前に必ずダイヤモンドホイールを点検してください。 ヒビ，ワレ，曲りがある場合は使用しないでください。 ・乾式用ですので，水や研削液などをかけて使用しないでください。 ・ジグザグ切断，曲線切り，側面使用，傾斜切断などには使用しないでください。 ・コンクリートなどを切断する場合は，１回の切込み深さを15㎜以下にしてください。コンクリートなどの硬い材料に使用すると，一般のダイヤモンドホイールより寿命が短くなります。 ・押出成形セメント建材を切断する場合は，切断抵抗が大きいため，無理に押しつけるとモーター故障の原因になります。１回の切込み深さを30㎜以下，または送りを遅くして切断してください。

図　5

用　途　ALC（厚さ75㎜以下）の切断
窯業系建材の切断

寸　法　セグメントタイプ（乾式用）

外径	穴径	ホイールの厚さ	台金厚さ	歯数
216㎜	25.4㎜	2㎜	1.4㎜	54枚

2．電動工具用集じん機

⚠ 警　告
・鋼材の切断時は，ホースが溶ける恐れがあるので，電動工具用集じん機による集じんはしないでください。

本製品は，電動工具用集じん機に接続して使用することができますので，お買い求めの販売店にご相談ください。

なお，ホースの取付け方は，20ページをご参照ください。

用　　途

⚠　注　意
• **本機はALC（厚さ75㎜以下），金属サイディング，各種新建材などの乾式切断を目的とした携帯用工具です。各種材料に合った刃物（弊社指定部品）を取付けて正しくお使いください。**

○各種材料の切断…………下表を参照してください。

刃　　物	切　断　で　き　る　材　料
標準チップソー	○木材　　○合板 ○木毛セメント板　　○パーティクルボード ○石こうボード　　○硬質細木片セメント板 ○FRP（厚さ15㎜以下）
特殊チップソー	※ ○金属サイディング ○ALC（厚さ50㎜以下）
窯業系建材用 ダイヤモンドホイール	○ALC（厚さ75㎜以下） ※※ ○押出成形セメント建材 ○コンクリート（1回の切込み深さ15㎜以下） ○軽量ブロック

※ 鉄板の厚さが0.3㎜のものまで切断できます。

※※押出成形セメント建材は，1回の切込み深さを30㎜以下もしくは送りを遅くして（1分間に40㎝以下の速さ）切断してください。

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認………

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ（延長）コード………

⚠　警　告
• **継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm²	10 m
2　 mm²	15 m
3.5 mm²	30 m

左の表は，使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

3．作業台（木製）を用意する………

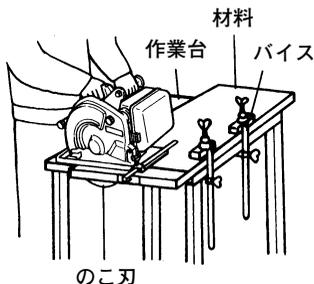



図６－１

のこ刃は材料の下面より出ますので，材料は作業台の上にのせて切断してください。

また，のこ刃および保護カバーが地面に接触しないように十分な高さ（のこ刃の出しろの３倍以上）にしてください。

切断する材料の切り残し側は，しっかり押さえておくようにしてください。

この場合，材料をバイスで固定するなどしてしっかり押さえれば安全であり，両手で作業することができます。（図６－１）

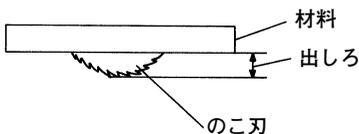



図６－２

材料の切り落とし側が大きいときは，切断中に材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように切り落とし側にも安定性のよい台，または角材を設けてください。

作業台に角材などを利用する場合は，地面の平らなところを選び，角材を固定してください。

作業台がぐらぐらしていると危険です。

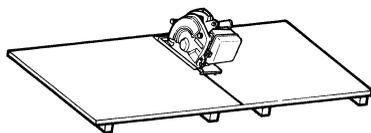



図６－３

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠　　警　　告
• ご使用前に次のことを確認してください。１～６項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

１．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

２．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

スイッチの引金を引き，はなしたとき引金が戻ることを必ず確認してください。

３．のこ刃の締付けを確かめる………

工場で組立ての際は，すぐご使用できるように，のこ刃を締付けてありますが念のため確かめてください。ワ付ボルトは時計方向に回すと締まります。

付属のボックススパナを使用し点検してください。

詳しくは17ページの「のこ刃の取付け・取りはずし」の項をご参照ください

４．ちょうナットの締付けを確かめる………

⚠　　警　　告
• 切込み調節用ちょうナット（図１－２参照）がゆるんでいると，けがの原因になります。十分締まっていることを確認してください。

５．サイドハンドルを取付ける………

(1)　ギヤカバのサイドハンドル取付座にプレート(A)をＭ５×16 スプリングワッシャ付⊕ナベねじ（２本）で取付けてください。

(2)　サイドハンドルをプレート(A)の穴部にさし込み，スプリングワッシャ，M10フクロナットを取付け，M10フクロナットを十分に締付けてください。（図７）

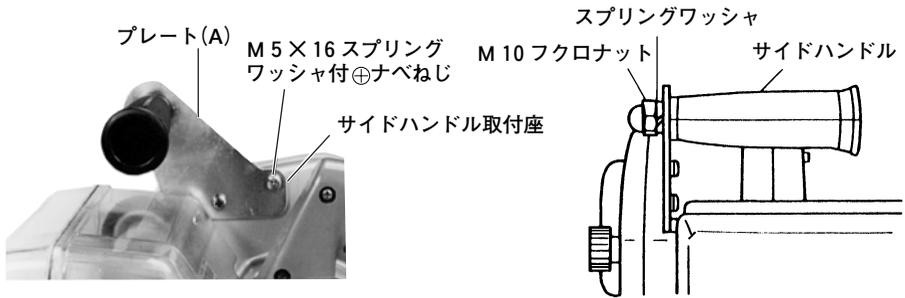



図　7（サイドハンドル取付け状態）

6. 切る前の調節………

⚠　警　告
• 保護カバーは，絶対に固定しないでください。また，円滑に動くことを確認してください。 のこ刃が露出したままですと，けがの原因になります。

(1) 保護カバーの動き

保護カバー（図 1−1参照）は，身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。

必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。万一保護カバーが円滑に動かない場合は，決してそのままお使いにならないでください。

この場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

(2) 切込み深さの調節

⚠　警　告
• ちょうナットがゆるんでいると，けがの原因になります。調整後，十分に締付けてください。

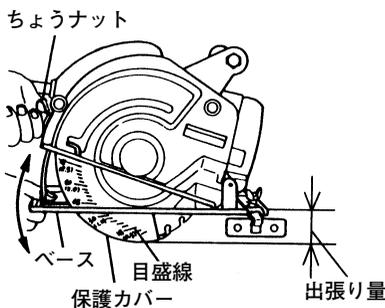



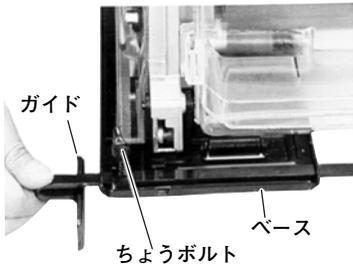
図　8

○ ちょうナット（切込み調節用）をゆるめ，ベースを上下させて調節します。調節が終ったら，ちょうナットを固く締付けてください。

○ 保護カバーの目盛を利用して切込み深さが調節できます。（図 8）

例えばベースの底面を 45（1.5）の目盛線に合わせると，その時の切込み深さは約 45 mm（1 寸 5 分）になります。目盛線は 3mm（1 分）毎についています。

注 • **目盛線は目安ですので，切込み深さを正確に決めたいときはのこ刃の出張り量を実測してください。**

図　9

⑶　ガイドの取付け，調節（図9）

ちょうボルトをゆるめて，付属のガイドをベースの穴へさし込みます。ガイドを左右に動かして切断位置の調節をしてください。

調節後は，ちょうボルトを十分に締付けてください。

7．電源コンセントの点検………

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

8．ブレーキがかかることを確かめる………

⚠　注　意
• ブレーキが働くときの反発力に注意してください。機体を落としたりし，けがの原因になります。

本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかる構造になっています。

ご使用前に，ブレーキがかかることを確認してください。万一正常に作動しない場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

切　り　方

⚠　警　告
• 使用中，のこ刃が止まったり，異常音や異常振動を発したときなどには直ちにスイッチを切ってください。 **• 切断中に本機をこじったり，強く押しすぎるとモーター部に無理がかかるばかりでなく，反ぱつ力を受け，けがの原因になります。まっすぐに静かに進めるようにしてください。** **• のこ刃を上向き，横向きにした使い方は，けがの原因になります。このような使い方はしないでください。** **• 保護メガネを使用してください。** **• 耳栓を使用してください。** **• 鋼材切断時には材料を確実に固定して，特に送りをゆっくりにしてください。ひねったり，こじったり，材料に急激に当てないでください。刃物のチップ飛散やモーター故障，けがの原因になります。** **• 作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注 意

- 回転するのこ刃で，コードを切断しないよう注意してください。
- 鋼材の重ね切り，焼入れ鋼材の切断は，モーター部に無理がかかり，モーター故障の原因になるので切断しないでください。
- ALCを切断する場合には，速い送りのまま切断すると，鉄筋切断時の振動でALCが欠ける場合があります。切り終りの時は切断速度を落してください。
- ALC内部の鉄筋や鋼材などの金属を連続して切断すると切断火花，切りくずによりダストボックス内が高温になり，ダストボックスが溶ける恐れがあります。連続して切断することはさけるとともに，切りくずは早めに捨ててください。

注
- 切断を始める前に，のこ刃の回転が全速になるようにしてください。
- ALCなどの湿った材料を切断すると，ソーカバーの内側に切粉が付着しやすくなります。またギヤカバの排出口に切粉が詰まる原因になります。できるだけ乾いた状態で切断してください。
- 金属サイディングを切断するときは，金属側を下にして切断してください。
- ダストボックス内に切りくずが満杯になったままで使用すると，排出口に切りくずがつまり，集じん力が低下します。切りくずが満杯になる前に早めに捨ててください。
- 切込み深さを浅くして使用する場合には，刃口が開くため，集じん力が低下します。

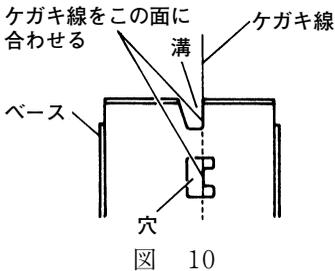
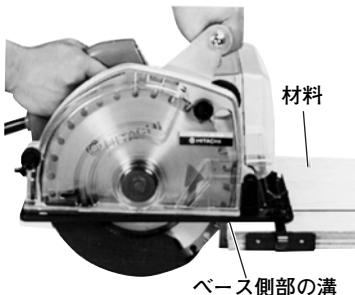
図 10

⑴ 材料の上に本体(ベース)をのせます。
ケガキ線とのこ刃とはベース前部の溝と穴で合わせます。(図10)

図 11

⑵ のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。そのまま本機をゆっくり前方に進め，切り終わるまでこの状態を保つようにしてください。(図11)
ひき肌をきれいにするには一定の速さでまっすぐに進めてください。

⑶ ベース側部の溝は最大切込み時ののこ刃の前方刃先位置を示します。材料を途中まで切断するときなどの目安に便利です。(図11)

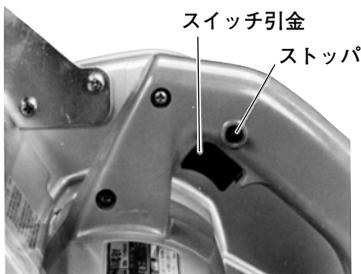



図　12

スイッチは引金を引くと入り，ストッパ（図12）を押すと指をはなしてもスイッチは入ったままになっており，連続運転に便利です。スイッチを切るときは再び引金を引きますとストッパは，はずれます。

のこ刃の取付け・取りはずし

⚠　警　告
• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

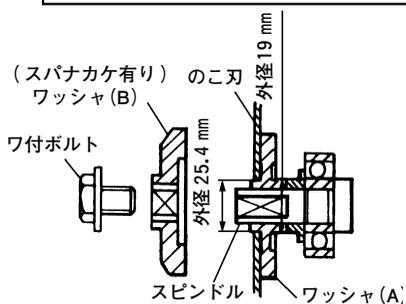



図　13

図　14

1．取付け方（図13，図14）

⑴　切込み量を最小にして，ノブボルト（図1－1参照）をゆるめ，ソーカバーを取りはずします。

⑵　付属のスパナとボックススパナでワ付ボルトをゆるめてワッシャ(B)を取りはずします。ワ付ボルトは右ねじですので，反時計方向に回すとゆるみます。

⑶　スピンドルやワッシャに付着しているごみ等をよくふき取ります。

⑷　のこ刃の向きは，のこ刃の矢印方向がソーカバーの矢印方向と一致するようにします。

⑸　のこ刃を図13の順に取付けて，付属のスパナとボックススパナを使って，ワ付ボルトを十分に締付けてください。

⑹　ソーカバーを取付けて，ノブボルトをよく締付けてください。

2．取りはずし方………

⚠　警　告
• 付属のスパナ，ボックススパナ以外の工具を使ってワ付ボルトの着脱をすると，締過ぎや締付け不足になり，けがの原因になります。

取りはずし方は，上記取付け方と逆手順で行ってください。

注 **• 窯業系建材用ダイヤモンドホイール（216mm）（別売部品）の穴径は25.4mmですので，前ページの図13，図14の取付け方と同じです。**

切りくずの捨て方と掃除

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．切りくずの捨て方………

⚠ 注　意

• 材料によっては，切断直後，切りくずが高温になります。直接，切りくずに手などを触れないようにしてください。

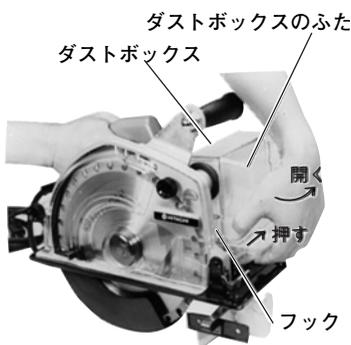



図　15

ダストボックス内に切りくずがたまりすぎますと，集じん力が弱まります。満杯になる前に切りくずを早めに捨ててください。

(1)　切込み量を最大にします。

(2)　ダストボックス前方にあるフックを押し，ダストボックスのふたを開き，切りくずを捨てます（図15，図16）

(3)　ダストボックス内に付着している切りくずを乾いた布等できれいにふきとり，内部がよく見えるようにしてください。

(4)　ふたを閉じて，フックをかけてください。

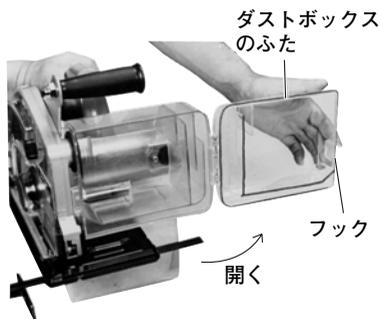



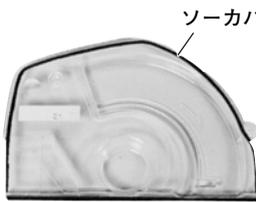
図　16

注 **• ダストボックスは，ていねいに取扱ってください。たたきつけたりすると，破損の原因になります。**
• 切りくずを捨てる時に，本体のモーター部に切りくずが入らないようにしてください。

2． 各部の掃除………

⑴ ソーカバーの掃除

ソーカバーの内側に切りくずが付着してのこ刃が見えにくい場合には，次のようにして掃除してください。

図　17

㈠ ノブボルト（図１－１参照）をゆるめて，ソーカバーを取りはずします。

㈡ 乾いた布等でソーカバーの内側をよくふいて，切りくずを取除きます。（図17）

⑵ 排出口に切りくずが詰まった場合の取りのぞき方

ダストボックス内に切りくずをためすぎたときや，湿った材料を切断したときなどに，ギヤカバの排出口に切りくずがつまる場合があります。

このようなとき（切りくずが吸い込まれなくなるのでわかります）は，ただちにスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いて，つまった切りくずを次のようにして取除いてください。

図　18

○ 排出口に詰まった切りくずを割りばしなどで取除きます。（図18）

取除き終わりましたら，のこ刃，ソーカバーを元通りに確実に取付けてください。

⑶ スライドカバーの掃除 ･････切込み深さが浅いときでも，集じん力が低下しないようスライドカバーが付いています。

図　19

スライドカバーの内側に切りくずが付着して，のこ刃が見えにくい場合には，次のようにして掃除してください。

㈠ 付属のスパナとボックススパナでワ付ボルトをゆるめて，のこ刃を取りはずします。（17ページの「のこ刃の取付け・取りはずし」の項を参照）

㈡ 乾いた布等でスライドカバーの内側をよくふいて切りくずを取除いてください。（図19）

注　**• スライドカバーの内側が切りくずにより傷付き，極端に摩耗したものを使い続けると，集じん力が低下する原因になります。早めに新品と交換してください。**

⑷　ローラの掃除 ･･･････切断時の推力を小さくするためベースにローラが付いています。

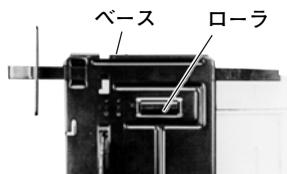



図　20

湿った材料を切断した場合など，ベースのローラ部に切りくずが付着して，回転が円滑にならない場合があります。

この場合，ローラの外周部，端部に付着している切りくず等を乾いた布等でふきとってください。

3．電動工具用集じん機(別売品)で集じんする場合………

⚠　警　告
• 鋼材の切断時は，ホースが溶ける恐れがあるので，電動工具用集じん機による集じんはしないでください。

電動工具用集じん機で集じんする場合は，次のようにしてください。

⑴　ダストボックスを固定しているＤ４タッピンねじをゆるめて，ダストボックスをはずします。(図21)

⑵　ギヤカバのダストボックス取付口に，電動工具用集じん機のホースを取付けます。(図22)

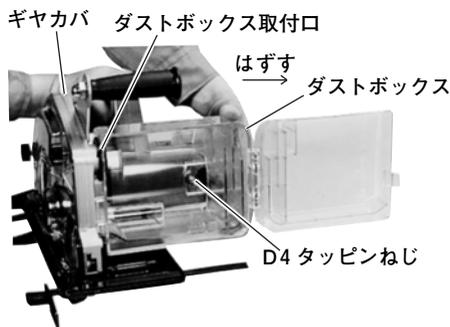



図　21　　　図　22

保守・点検

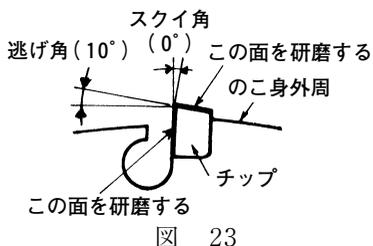
⚠　警　告
● 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．のこ刃の点検………

⚠　警　告
● 極端に切れ味の悪くなったのこ刃を無理して使うと，切断時の反力が大きくなり，けがの原因になります。そのままお使いにならないでください。

のこ刃の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますから早めに目立てするか，新品と交換してください。

〈特殊チップソーの目立てについて〉

図　23

目立てを依頼される場合は，次のことに注意して依頼してください。

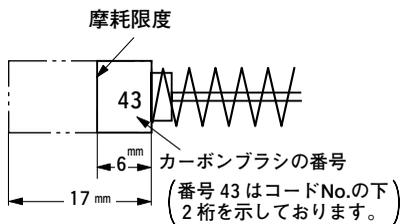
- チップの外周部（太線部），スクイ面（太線部）を0.2mm程度研磨してください。（図23）
- チップとのこ身外周との段差が極端に少なくなったとき（0.2mm以下）は，のこ身の外周を研磨後，目立てしてください。

2．各部取付けねじの点検………

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もし，ゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検………

図　24

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（6mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 • **新品と交換の際は必ず図示の番号 (43) の日立カーボンブラシを使用してください。指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。**

交換方法 カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図１－２参照）をはずしますと取出せます。

４．保護カバーの動作点検と保守………

保護カバー（図１－１参照）は，いつも円滑に動作するようにしておいてください。なお，不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

５．表面のよごれ清掃………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は，乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

６．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00	
●フリーダイヤル 0120-20-8822	※携帯電話からはご使用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783−0626	TEL (076) 263−4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896−1740	TEL (0798) 37−2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288−8676	TEL (082) 504−8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733−0255	TEL (087) 863−6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533−0231	TEL (092) 621−5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南２丁目15番１号（品川インターシティＡ棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

400
部品コード　C99011904 N